

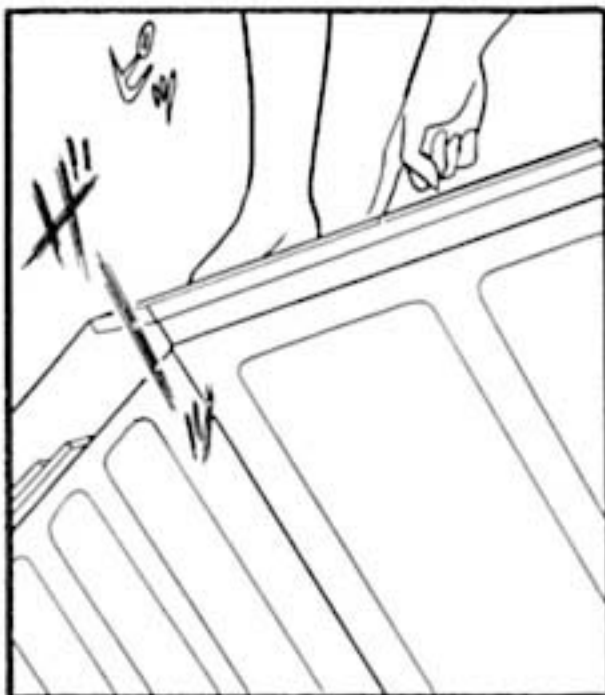
星合操  
官能の美学

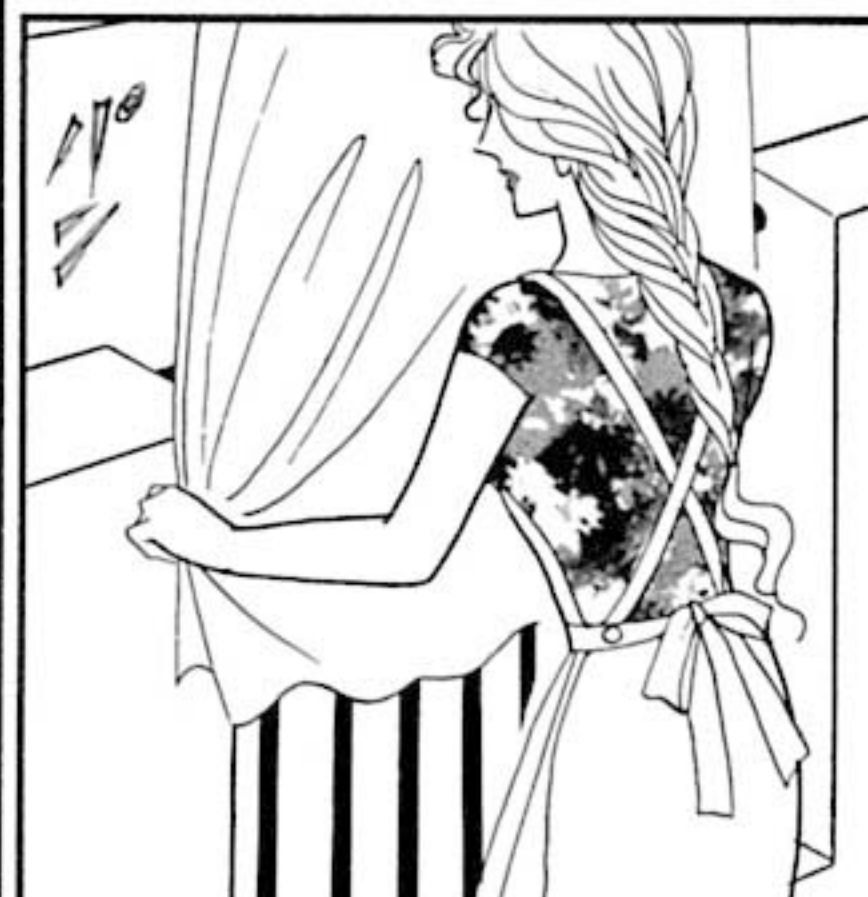
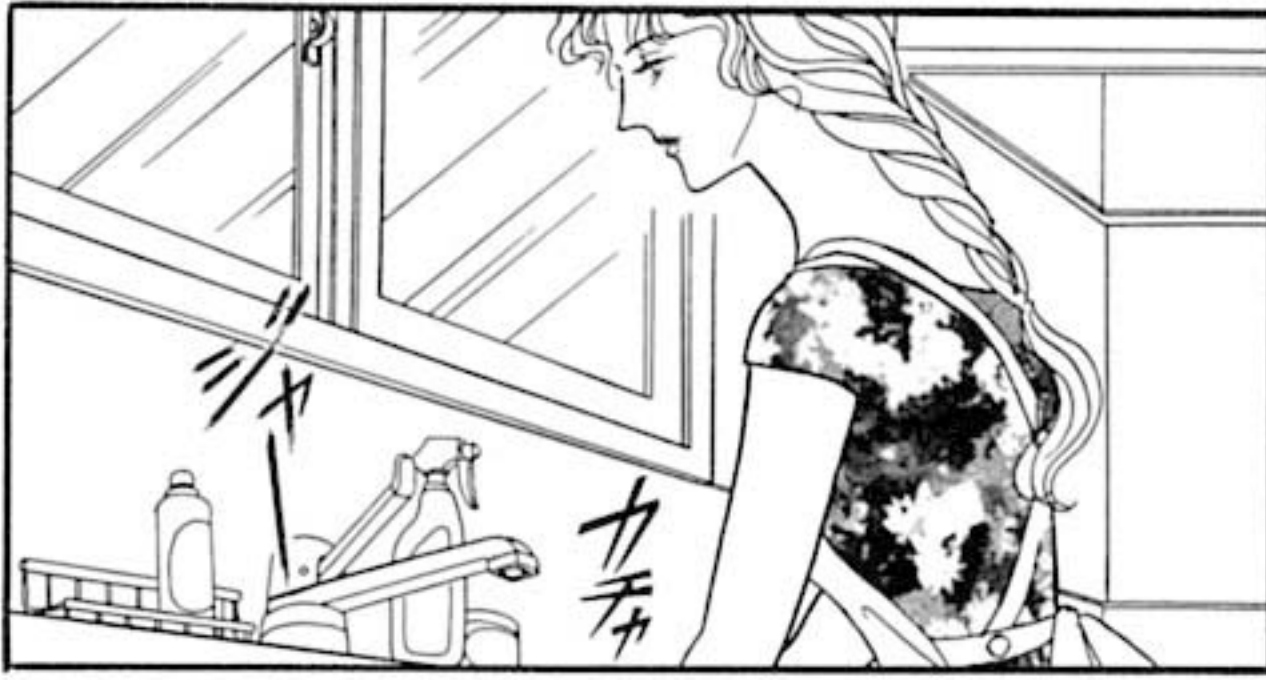
星合操



罪深き淑女









同じ作りの  
部屋の中に  
同じような  
暮らしが並ぶ

その中の  
ただのひとつが  
私の  
現実の世界



正面の  
白い壁に  
かすかな汚れが  
浮かんでいる

その壁に  
ステキな絵でも  
かければ  
汚れも  
隠せるし

この  
味気ない部屋も  
少しは  
華やかに  
なるでしょうに

賃貸の公団じゃ  
壁にフキも  
打てないし

だいいち  
絵画なんて  
買うお金は  
ないわ





私はいつも  
溜息を  
ついていた

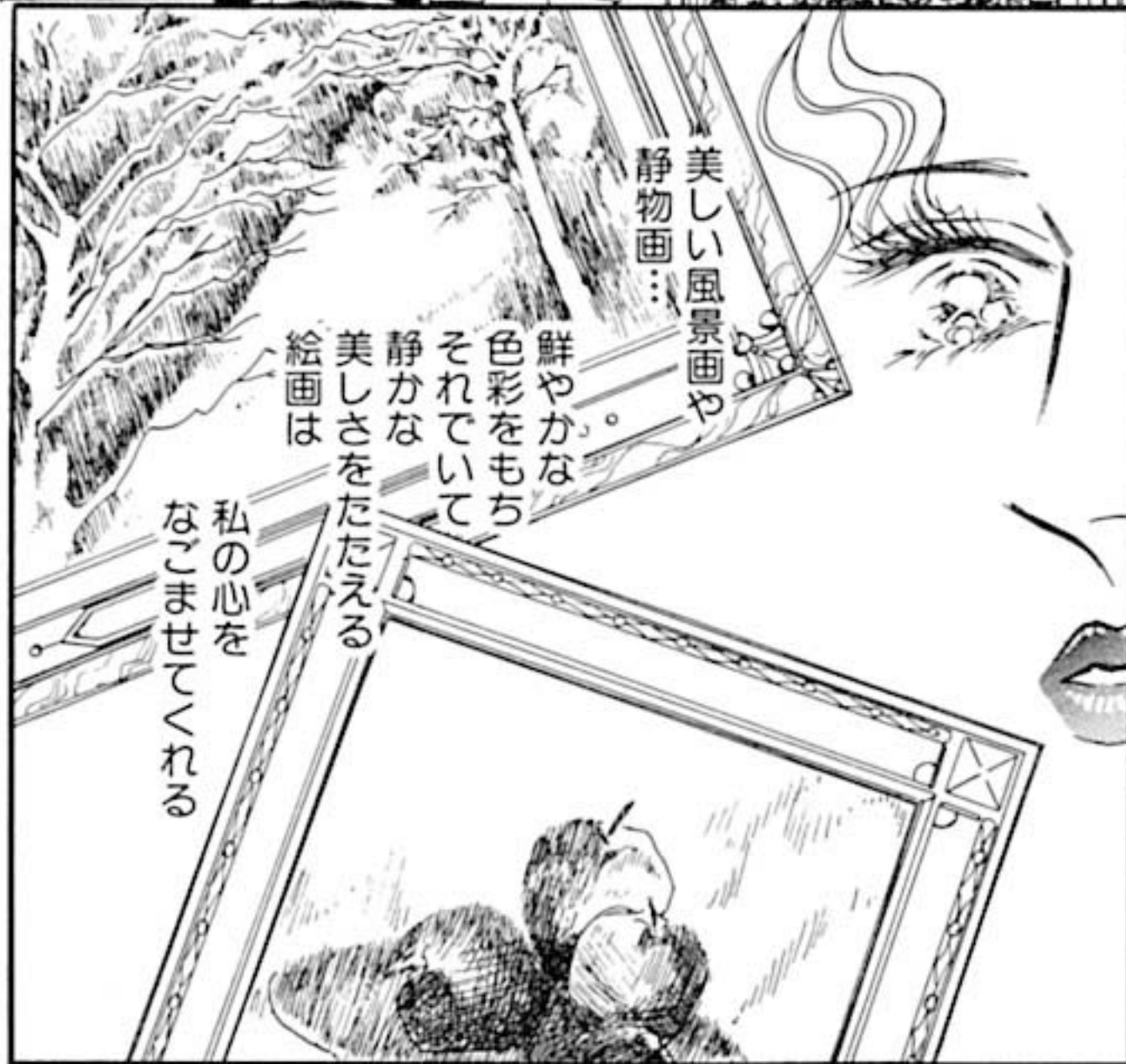
取りたてて  
イヤな事が  
あるわけじゃない

でも  
いい事も起きない

何も  
特別な事の  
起きない  
日常に…



そんな私の  
唯一の  
気晴らしは…



美しい風景画や  
静物画…

鮮やかな  
色彩をもち  
それでいて  
静かな  
美しさをたたえる  
絵画は

私の心を  
なごませてくれる

街に用事で  
出かけた時に  
画廊のウィンドーを  
覗く事だった



あの日も  
私は  
ある画廊の  
前にいた

お入りに  
ならないのですか？

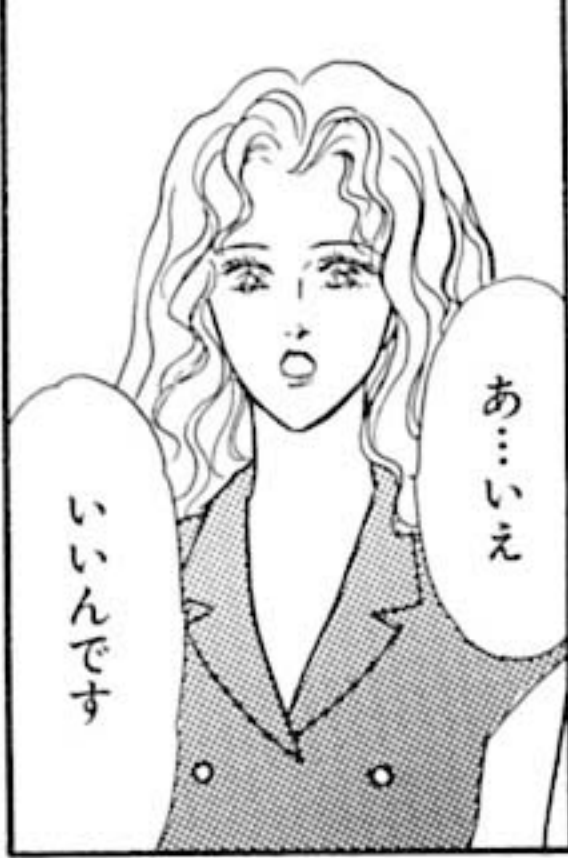
突然  
声を  
かけられた







絵がお好き  
なのでしよう？



いいんです

あ…いえ



中で  
ごらんになったら  
どうですか？



いいえ  
全然  
わからないんです

ただ  
見ているのが  
好きなので



それが  
好きって  
事でしょう



男の  
笑顔も  
話し方も  
自然で

慣れた様子で  
私に  
店の内を  
案内する



とまどいは  
したけれど

イヤな気は  
しなかつた



その男は  
私の肩に  
自然に手を回し

エスコート  
するように  
店内に入った





どうかね？  
この店は  
どの新人も  
期待と  
言うからね



彼はまだ  
新人ですが  
期待の星ですよ



この作家の  
作品は  
初めて見るな



ふむ  
良さそうだな



かわいくて  
素敵です



どう  
思いますか？



それは  
私にはとても  
手ごろとは思  
えない金額  
だったけれど…

¥120,000



では  
試しに  
この  
リトグラフを  
もらおうか

大きさも  
値段も  
手ごろだろう



行きましよう



じゃあ  
もう  
いいですか？





高級ホテルの  
ラウンジで  
お茶を  
ご馳走された

男は  
画廊を出ると  
再び  
私の肩に手を回し  
歩き出した



お若いし  
魅力的な  
方だから

そうは  
見えません  
でしたよ



ご結婚を  
なさってるん  
ですね？



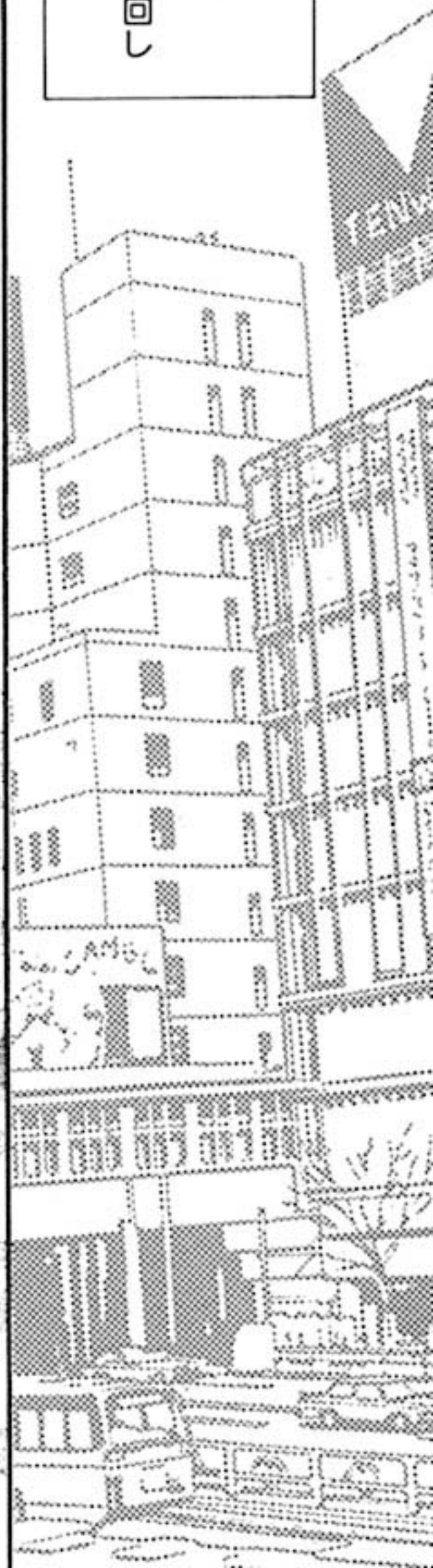
私は心地が  
良かった

気分が  
華やいていた

目の前の  
洒落た男に

日常と違う  
周囲の景色に…

心が酔っていた





高揚した  
気分のまま

私は男の  
腕の中にいた

かすかな  
煙草の香り…

男物の  
コロンの香りが  
鼻腔を塞ぐ

頭がツンとして  
何も  
考えられなくなる